

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第35期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 クボテック株式会社

【英訳名】 KUBOTEK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 久保哲夫

【本店の所在の場所】 大阪市北区中之島4丁目3番36号 玉江橋ビル内

【電話番号】 06(6443)1815

【事務連絡者氏名】 理事 管理部長 記虎政史

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区中之島4丁目3番36号 玉江橋ビル内

【電話番号】 06(6443)1815

【事務連絡者氏名】 理事 管理部長 記虎政史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第34期 第2四半期 連結累計期間	第35期 第2四半期 連結累計期間	第34期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	862,202	1,243,501	1,637,850
経常利益又は経常損失( )	(千円)	130,208	71,548	632,402
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	161,391	69,876	102,454
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	178,897	64,950	99,931
純資産額	(千円)	1,405,991	1,391,977	1,327,026
総資産額	(千円)	4,096,289	3,508,785	3,600,443
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	11.72	5.08	7.44
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	34.3	39.7	36.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	267,337	333,874	23,928
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	437,210	88,547	1,284,178
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	367,000	221,712	89,712
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,591,847	2,240,370	2,228,526

回次		第34期 第2四半期 連結会計期間	第35期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	21.39	8.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、従来非連結子会社であったKUBOTEK Europe srlは、当第2四半期連結累計期間において清算終了していません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦の長期化が懸念され、先行きの不透明感が増しております。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資の慎重姿勢が強まり、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、製品開発、販売拡大により事業基盤の強化を図ってまいりました。この結果、当第2半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,243百万円(前年同四半期比44.2%増)、営業利益77百万円(前年同四半期は営業損失246百万円)、経常利益71百万円(前年同四半期は経常損失130百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円(前年同四半期比56.7%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は983百万円(前年同四半期比94.1%増)、セグメント利益は132百万円(前年同四半期はセグメント損失284百万円)となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が増加しましたが、売上原価の増加により損失が増加しました。この結果、売上高は197百万円(前年同四半期比5.5%増)、セグメント損失は56百万円(前年同四半期はセグメント損失0.9百万円)となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は62百万円(前年同四半期比62.9%減)、セグメント損失は17百万円(前年同四半期はセグメント利益19百万円)となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。流動資産は売上債権の減少44百万円、棚卸資産の減少23百万円などにより、97百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少しました。流動負債は仕入債務の増加104百万円、関係会社整理損失引当金の減少32百万円などにより、68百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少などにより、225百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円の計上などにより、純資産合計が64百万円増加しました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、2,240百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は、333百万円（前年同四半期は資金の使用267百万円）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益の計上71百万円、減価償却費の計上79百万円、売上債権の減少42百万円、仕入債務の増加106百万円による資金増加によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、88百万円（前年同四半期は資金の取得437百万円）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出81百万円による資金減少によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、221百万円（前年同四半期は資金の取得367百万円）となりました。

これは長期借入金の返済による支出221百万円による資金減少によるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11百万円であります。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,830,000	13,830,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	13,830,000	13,830,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		13,830,000		1,951,750		

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
久保哲夫	大阪市淀川区	2,478,300	18.00
久保美津子	大阪市淀川区	1,400,000	10.17
久保元	大阪市淀川区	1,400,000	10.17
久保宣子	大阪市淀川区	1,400,000	10.17
久保典子	大阪市淀川区	1,400,000	10.17
園田朋子	延岡市	1,400,000	10.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	223,900	1.63
久保成一	京都市東山区	150,000	1.09
中尾毅	倉敷市	111,400	0.81
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10号	93,200	0.68
計		10,056,800	73.05

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式は、信託業務に係る株式であります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 62,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,766,500	137,665	
単元未満株式	普通株式 1,400		
発行済株式総数	13,830,000		
総株主の議決権		137,665	

(注) 単元未満株式の普通株式には、当社所有の自己株式59株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) クボテック株式会社	大阪市北区中之島4丁目 3番36号	62,100		62,100	0.45
計		62,100		62,100	0.45

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新月有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,260,197	2,272,044
受取手形及び売掛金	736,530	773,336
電子記録債権	81,793	540
商品及び製品	8,259	6,250
仕掛品	175,784	149,763
原材料及び貯蔵品	42,142	46,187
その他	61,531	20,755
貸倒引当金	24,180	24,453
<b>流動資産合計</b>	<b>3,342,060</b>	<b>3,244,423</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	35,562	34,352
その他(純額)	31,977	28,785
<b>有形固定資産合計</b>	<b>67,539</b>	<b>63,137</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	158,975	169,677
その他	2,285	2,285
<b>無形固定資産合計</b>	<b>161,260</b>	<b>171,963</b>
<b>投資その他の資産</b>		
繰延税金資産	1,027	966
その他	28,793	28,501
貸倒引当金	238	207
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>29,582</b>	<b>29,260</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>258,383</b>	<b>264,361</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,600,443</b>	<b>3,508,785</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	266,251	370,736
短期借入金	645,424	642,424
未払法人税等	9,645	12,282
賞与引当金	9,540	5,540
関係会社整理損失引当金	32,430	-
その他	343,810	344,699
<b>流動負債合計</b>	<b>1,307,102</b>	<b>1,375,681</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	901,864	683,152
繰延税金負債	6,120	4,300
退職給付に係る負債	50,652	47,432
その他	7,677	6,241
<b>固定負債合計</b>	<b>966,314</b>	<b>741,126</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,273,416</b>	<b>2,116,808</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	576,694	506,817
自己株式	81,717	81,717
株主資本合計	1,293,338	1,363,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	747	1,868
為替換算調整勘定	34,435	30,630
その他の包括利益累計額合計	33,688	28,762
純資産合計	1,327,026	1,391,977
負債純資産合計	3,600,443	3,508,785

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	862,202	1,243,501
売上原価	669,982	780,081
売上総利益	192,219	463,420
販売費及び一般管理費	439,198	386,062
営業利益又は営業損失( )	246,978	77,357
営業外収益		
受取利息	90	225
受取配当金	109	188
受取賃貸料	277	-
貯蔵品売却益	125,701	-
その他	95	249
営業外収益合計	126,275	662
営業外費用		
支払利息	6,937	5,624
為替差損	2,387	835
その他	180	12
営業外費用合計	9,505	6,472
経常利益又は経常損失( )	130,208	71,548
特別利益		
固定資産売却益	309,044	-
関係会社清算益	-	1,483
特別利益合計	309,044	1,483
特別損失		
特別退職金	-	1,456
特別損失合計	-	1,456
税金等調整前四半期純利益	178,836	71,574
法人税等	17,445	1,697
四半期純利益	161,391	69,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,391	69,876

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	161,391	69,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	496	1,120
為替換算調整勘定	17,009	3,805
その他の包括利益合計	17,506	4,926
四半期包括利益	178,897	64,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,897	64,950
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	178,836	71,574
減価償却費	103,572	79,374
貸倒引当金の増減額(は減少)	748	293
賞与引当金の増減額(は減少)	-	4,000
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,571	3,220
関係会社整理損失引当金の増減額(は減少)	-	32,430
受取利息及び受取配当金	199	413
支払利息	6,937	5,624
為替差損益(は益)	951	942
有形固定資産売却損益(は益)	309,044	-
売上債権の増減額(は増加)	10,970	42,957
たな卸資産の増減額(は増加)	20,167	23,485
仕入債務の増減額(は減少)	249,929	106,069
未収消費税等の増減額(は増加)	42,029	14,381
未払消費税等の増減額(は減少)	3,635	24,181
その他	12,942	10,833
小計	243,030	339,653
利息及び配当金の受取額	197	411
利息の支払額	7,741	5,310
法人税等の支払額	16,763	879
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,337	333,874
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	1,293	1,358
有形固定資産の取得による支出	13,643	5,883
有形固定資産の売却による収入	544,821	-
無形固定資産の取得による支出	422	-
ソフトウェアの取得による支出	92,186	81,305
その他	64	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	437,210	88,547
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	700,000	-
長期借入れによる収入	1,300,000	-
長期借入金の返済による支出	233,000	221,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	367,000	221,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,771	11,770
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	524,101	11,843
現金及び現金同等物の期首残高	1,067,746	2,228,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,591,847	2,240,370

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (2019年9月30日)
支払手形	74,633	

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料及び手当	183,629	172,959
退職給付費用	6,316	6,935
支払手数料	70,481	58,248
広告宣伝費	8,798	13,473
減価償却費	5,430	5,472
貸倒引当金繰入額	76	324
賞与引当金繰入額	5,375	2,282

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,623,518	2,272,044
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	31,671	31,673
現金及び現金同等物	1,591,847	2,240,370

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額  
該当事項はありません。
2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの  
該当事項はありません。
3. 株主資本の著しい変動  
株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額  
該当事項はありません。
2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの  
該当事項はありません。
3. 株主資本の著しい変動  
株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	506,484	187,456	168,261	862,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,264	5,817	23,654	64,737
計	541,748	193,273	191,916	926,939
セグメント利益又は損失( )	284,432	989	19,903	265,519

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(固定資産の譲渡による資産の著しい減少)

当第2四半期連結会計期間において、京都第三工場の土地・建物を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「日本」のセグメント資産が236,404千円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	265,519
セグメント間取引消去	2,688
内部利益の調整額	12,849
貸倒引当金の調整額	3,002
四半期連結損益計算書の営業損失( )	246,978

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	983,324	197,803	62,374	1,243,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117,160		9,656	126,817
計	1,100,485	197,803	72,030	1,370,319
セグメント利益又は損失( )	132,063	56,765	17,576	57,720

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	57,720
セグメント間取引消去	2,642
内部利益の調整額	692
貸倒引当金の調整額	17,687
四半期連結損益計算書の営業利益	77,357

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円72銭	5円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	161,391	69,876
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	161,391	69,876
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,841	13,767,841

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

クボテック株式会社  
取締役会 御中

### 新月有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐野明彦	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡本光弘	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクボテック株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クボテック株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

会社の2019年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2018年11月13日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2019年6月26日付けで無限定適正意見を表明している。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。